令和5年度（2023年度）モニタリングシート

施設名	船田小 学童保育所

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	所管課期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置（常勤数、非常勤数、加配数）・放課後児童支援員	出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか 【日報】	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B	B		B 支援単位に見合った配置である	B		B 支援単位に見合った配置である。	B		B 支援単位に見合った配置である。
		月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか		B	適切に作成している。	B	B		B 作成している	B		B 適正に作成している。	B		B 適正に作成している。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B	B		C 八王子市専用口座はなく、本社の口座を利用	B		B 八王子市専用口座はなく、本社の口座を利用。	B		B 八王子市専用口座はなく、本社の口座を利用。
			延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	適正に徴収されている。	B	B		B アプリ「エンペイ」を使って徴収している 帳簿はアプリのデータを参照 延長記録は日誌で管理	B		B アプリ「エンペイ」を使って徴収している。 帳簿はアプリのデータを参照。 延長記録は日誌で管理。 アプリに不慣れな場合は請求書で対応。	B		B アプリ「エンペイ」を使って徴収している。 帳簿はアプリのデータを参照。 延長記録は日誌で管理。 アプリに不慣れな場合は請求書で対応。
		収支計画が適正であること	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか 【給与規程・賃金台帳・事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B	適正に執行されている。	B	B		B 適正に執行されている	B		B 適正に執行されている。	B		B 適正に執行されている。
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか 【研修件名・内容】	B	法人独自の研修として、オンライン形式で学童全般について、発達支援について等、職員全員が受講。計画的に研修を実施している。	B	A	計画通りの研修の実施のほか、個人個人にあったスキルの習得のための「ひとり立ちチェックシート」を作成し、必要に応じた研修の参加や指導を行っている。また、同法人の他施設にも活用について情報提供を行っているところを評価する。	B オンデマンド動画研修を実施 ミニミーティング等で気になる児童の指導方針や支援方針を施設責任者から共有	A	法人独自のオンライン研修をはじめ多種多様な社外の研修にも出来るだけ多くの職員が参加できるよう勤務体制等を配慮している。 研修受講においては、法人独自のセルフチェックできるスキルシートを基に、職員がそれぞれ学ぶべき研修を計画し受講。自己研鑽を行っている。	A セルフチェックできるスキルシートを作成し、自己研鑽を行っている。 社内外問わず、積極的な研修参加を促している。 1月13日に市内で行われる研修（講座）に3名参加予定。 臨床心理士による研修に13名（うち7名子ども教室）参加予定。	A	年間を通じて法人独自のオンライン研修をはじめ多種多様な社外の研修にも出来るだけ多くの職員が参加できるよう勤務体制等を配慮している。研修受講においては、法人独自のセルフチェックできるスキルシートを基に、職員がそれぞれ学ぶべき研修を計画し受講。自己研鑽を行うよう体制を整備した。	A 1月13日に市内で行われた研修（講座）に2名参加。 臨床心理士による研修に13名（うち7名子ども教室）参加。 加賀谷教授のyoutebe研修動画視聴5名。 所長による4項目の資質向上研修を新たに作成。令和6年度より実施予定。
			保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか 【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B	B		C 年度途中の人事異動が発生しているが、結果として安定した保育につながっている	B		B 7月の人事異動後、1名を新規採用し、さらに安定化が図れている。	B		B 7月の人事異動後、1名を新規採用し、全員が令和6年度も継続して勤務にあたる。
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	B		B 健全な状態である	B		B 健全な状態である。	B		B 健全な状態である。
			業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で、非常通報装置、空調清掃が行われている。	B	B		B 一括委託は行われていない	B		B 協定書で定める範囲内で非常通報装置、空調整備が行われている。	B		B 協定書で定める範囲内で非常通報装置点検、空調整備が行われている。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	適切に処理されている。	B	B		B 書類はコピーを保管し、適正に処理している	B		B 書類は全てコピーを保管し、期日までに適正に処理できている。	B		B 書類は全てコピーを保管し、期日までに適正に処理できている。
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間は守られている。	B	B		B 厳守している	B		B 厳守している。	B		B 厳守している。
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。	B	B		B 会社の文書保管期間に従い、鍵付きのキャビネットに保管	B		B ファイル基準表に従い、鍵付きのキャビネットに保管。	B		B ファイル基準表に従い、鍵付きのキャビネットに保管。
			設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか 【事業報告書・実地調査】	B	日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。	B	A	天井清掃や日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。また、運営1年目のため、既存のレイアウトからの配置変更や不要な物を廃棄し、保育スペースを確保するとともに、使いやすい手作りの棚を設置するなど、児童の保育環境に努めているところを評価する。	B 安全確認や設備点検は定期的に行われている 清掃は月に一度、天井付近も清掃している	A	安全確認や設備点検を定期的に行うとともに、目視点検にて発見した校庭の破損部分などは学校と情報共有して事故防止に努めている。校庭の大きな石や太い木の枝などは、子どもが入れない場所へ適切に処理を行っている。また、学童前の花壇を学校から借用し、児童らと花壇の雑草を一掃するとともに季節の花々を植えるなど環境美化にも取り組んでいる点を評価した。	A 校庭の破損部分など目視点検を行い、学校に共有して事故防止に努めている。安全確認や設備点検は定期的に行われている。 校庭の大きな石や太い木の枝などは子どもが入れない場所へ適切に処理を行っている。 学童花壇の雑草を一掃し、花を植えた。	A	年間を通して安全確認や設備点検を定期的に行うとともに、目視点検にて発見した校庭の破損部分などは学校と情報共有して事故防止に努めている。校庭の大きな石や太い木の枝などは、子どもが入れない場所へ適切に処理を行っている。また、学童前の花壇を学校から借用し、児童らと花壇の雑草を一掃するとともに季節の花々を植えるなど環境美化にも継続して取り組んでいる点を評価した。	A 校庭の破損、廊下の落下物など目視点検を行い、必要に応じて学校に共有し事故防止に努めている。 校庭の大きな石や太い木の枝などは適切に処理している。 学童周りは主体的な子どもと共に草取りをしている。 イノシシ対策は学校長と相談し、対応を定め、保護者にも協力を要請した。
			備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B	B		B 備品台帳を備えている	B		B 備品台帳を備え、保管場所を決めて管理している。	B		B 備品台帳を備え、保管場所を決めて管理している。 購入した備品は全てシールを付けているため照合可能。
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0 【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は3．0以上である。	
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか		A	今年度より開始した放課後子ども教室のスキームを活かした朝の見守り事業についても、学校や地域と調整し、実施し子どもの居場所を確保している。同一法人が運営している利点を活かし、共通の行事等を開催し交流も活発に行われている。	B	B	児童の情報共有や安全対策を双方で協力して行い、放課後子ども教室へは毎日積極的に参加している。	B 情報共有は密に行い、連絡ノートで記録に残している 学童→放課後は参加できるが、学童→放課後→学童は実施していない 今後整える予定	A	放課後子ども教室のスキームを活かした朝の見守り事業についても、学校や地域と調整し、実施し子どもの居場所を確保している。同一法人が運営している利点を活かし、共通の行事等を開催し交流も活発に行われている。さらに年間を通して放課後子ども教室への参加方法についても柔軟な対応が取れるよう試行実施に取り組まれている点を評価した。	A 朝の子ども教室も安定した運営ができている。 学童→放課後は参加できる。子ども教室から学童へ参加する仕組みづくりのため、12月イベントでは子ども教室として参加後、学童へ登所する流れを許可し、問題がないことを確認した。	A	同一法人が運営している利点を活かし、共通の行事等を開催し交流も活発に行われている。さらに年間を通して放課後子ども教室への参加方法についても柔軟な対応が取れるよう試行実施に取り組まれている点を評価した。	B 情報共有は密に行い、連絡ノートで記録に残している。 学童→放課後は参加できるが、学童→放課後→学童を実現するに至っていない。
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	苦情解決の体制（解決責任者の設置・受付担当者の設置）を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成し職員間で共有するなど適切な対応がされている。	B	A	ヒューマンエラーを防ぐために、個人情報に配慮しつつ、日々の怪我や伝達事項をホワイトボードを活用し、全職員が常に状況を意識しながら保育を行う体制を築き、情報共有をすることで未然にトラブルを防いでいるところを評価する。	A 苦情対応マニュアルが備えられ、責任者が主対応 苦情の内容は連絡ノートに残し、再発防止について周知徹底を図っている	B	苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成し職員間で共有するなど適切な対応がされている。	B 苦情対応マニュアルが備えられ、責任者が主対応。 苦情の内容は連絡ノートに残し、再発防止について周知徹底しており、同様の苦情は受けていない。相談については全ての案件に対して真摯に対応している。	B		B 苦情対応マニュアルが備えられ、責任者が主対応。 苦情の内容は連絡ノートに残し、再発防止について周知徹底しており、同様の苦情は受けていない。相談については要望がない限り職員に共有し、全体で相談内容の解決に取り組んでいる。
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	B	適切に行われている。	B	B		B 月に一度アプリからおたよりと活動の様子を配信 お迎えの時間は必ず一言でも言葉を交わすよう心掛け	A	学童保育の様子やおたよりはアプリから配信し、お迎え時間には保護者の方へ児童の様子をお伝えするよう日々心掛けている。また玄関ガラス戸には、「お知らせ掲示板」を設置し、保育の様子をお伝えするとともに、保護者とのコミュニケーションづくりに取り組んでいる。突発的な保護者の相談にも保護者が相談したい職員をすぐに対応できるような配置運営を行っている点を評価した。	B 月に一度アプリからおたよりと活動の様子を配信。 玄関のガラス戸を「お知らせ掲示板」として活用することで、お迎え時にも真っ先に確認でき、職員に不明点を訪ねやすくした。 お迎え時に相談したいという保護者のために、保護者が希望する職員をすぐに保育から外しても問題なく対応できる運営ができている。	B		B 月に一度アプリからおたよりと活動の様子を配信。 玄関のガラス戸を「お知らせ掲示板」として活用することで、お迎え時にも真っ先に確認でき、職員に不明点を訪ねやすくした。 アプリの連絡帳機能、電話、メールなど保護者の都合にあった形で連絡がとれるようしている。
		学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか 【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	A	運営1年目だが、積極的な学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。また児童館との連携による行事への参加や、地域との連携のために現在準備中である。	B	B	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。	B 学校とは新1年生が慣れるまでの連携や、互いで発生したトラブルやケガについて共有し、協力して対応するケースもある	A	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。 また、中郷子ども・若者育成支援センターとの交流事業を実施するなど地域との関係構築や保育活動の拡大を図っている点を評価した。	A 学校とは新1年生が慣れるまでの連携や、互いで発生したトラブルやケガについて共有し、協力して対応するケースもある。 中郷子ども・若者育成支援センターとの交流が11月からスタートしている。	A	積極的な学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。また近隣子ども・若者育成支援センターや地域スポーツクラブとの交流事業をはじめ積極的に地域との関係構築が図られ保育活動の拡充・拡大が図られている点を評価した。	A PTA主催のイベントへの参加と協力を行った。 地域のクラブチームと交流を行った。 ミライミーティングへの参加、令和6年度「みんなの食堂」の決定など、地域とのつながりが構築でき始めた。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等】	B	節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。	B	B		B 紙での配布物を可能な限り減らせるよう、電子化を進めている 段ボールや裏紙は工作の材料に再利用している	B		B 紙での配布物を可能な限り減らせるよう、電子化を進めている。 段ボールは工作の材料や事務室の整理棚として再利用している。 不要な紙は裏紙に使用できるものと、そうでないものを分けている。	B		B 紙での配布物を可能な限り減らせるよう、電子化を進めている。 段ボールは工作の材料や事務室の整理棚、工作の乾燥棚として再利用している。 不要な紙は裏紙に使用できるものと、そうでないものを分けている。
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか 【行事計画書、行事参加者名簿】		B	計画どおり実施されている。	B	B		B 一部延期しているが概ね予定通り 放課後子ども教室との合同イベントや、朝の放課後子ども教室の実施なども行った	B		B 延期していた施設間交流プログラムを実施。 放課後子ども教室との合同イベントや、朝の放課後子ども教室の実施なども引き続き行っている。学童独自の工作イベントも月に1～2種類ほどのペースで実施している。	B		B 年間行事は一部変更になったものもあるが、滞りなく実施できた。 加えて学童独自の工作イベントを月に1～2種類ほどのペースで実施できた。
		防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか		B	地震を想定した避難訓練、防災教育、交通安全教室など計画的に実施されている。	B	B		B 火災、不審者、交通安全、土砂・地震災害について、避難訓練と防災訓練を行った	B		B 火災、不審者、交通安全、土砂・地震災害について、避難訓練と防災訓練を行った。	B		B 火災、不審者、交通安全、土砂・地震災害について、避難訓練と防災訓練を行った。
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。	B	B		B 個人情報保護マニュアルが備えられ、毎年全職員に対してPマークの研修を実施している	B		B 個人情報保護マニュアルが備えられ、毎年全職員に対してPマークの研修を実施している。	B		B 個人情報保護マニュアルが備えられ、毎年全職員に対してPマークの研修を実施している。 写真掲載やアレルギー情報など、重要な情報はすぐに確認できるようにまとめている。
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】										B	保険加入は適切である。	
			事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順（マニュアル）等を明確にし、体制が整えられているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	万が一の事故や災害に備え、適切な対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。	B	B		B 緊急時対策マニュアルが整備されている 土砂災害については安全確保計画を施設にて作成した	B		B 緊急時対策マニュアルが整備されている。 土砂災害については避難確保計画および安全確保計画を施設にて作成した。 緊急時の具体的な行動についてはフローを掲示している。	B		B 緊急時対策マニュアルが整備されている。 土砂災害については避難確保計画および安全確保計画を施設にて作成した。 緊急時の具体的な行動についてはフローを掲示している。
			事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B	B		B 事故発生時の状況や対応について共有し、施設全体で意識的に再発防止を行っている	B		B 毎日のミニミーティングにて事故発生時の状況や対応について共有し、見守り位置の改善や留意点を具体化している。定期的に振り返りを行う事で再発防止について失念しないように留意している。	B		B 毎日のミニミーティングにて事故発生時の状況や対応について共有し、見守り位置の改善や留意点を具体化している。定期的に振り返りを行う事で再発防止について失念しないように留意している。

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容どおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。 育成日誌等の帳票類も適切に管理されており、会計処理も適切である。マニュアル類も整備され、学童保育所を安定的に運営するよう努めている。 日頃の保育活動を行う上では、近隣の子ども若者育成センターとの連携や地域スポーツクラブとの交流事業をはじめ積極的に地域との連携が図られている。 今後も保護者、学校、地域団体との良好な関係を築き、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育所の運営に期待する。